

講座

1

再発見・日本版画の特徴と魅力 浮世絵から現代版画まで

【定員】100名 【受講料】 2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円

『美術』美術Ⅰ 【時間】 毎回10時30分～12時00分 (計12回)

概要

日本の版画の歴史は奈良時代の仏教版画にはじまるとされています。以来、その長い歴史のなかで制作された版画は、世界版画史のなかでもきわめて特徴的で、美術史的にも注目できるものです。本講座は、浮世絵と近現代版画を取り上げ、それらを通して日本版画の魅力を探索していきます。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/ 2(月)	高津市民館 大会議室	浮世絵の誕生 — 菱川師宣と鳥居派	町田市立国際版画美術館館長 大久保 純一
2	10/23(月)		錦絵の創始 — 鈴木春信	町田市立国際版画美術館学芸員 宮崎 黎
3	11/13(月)		浮世絵の黄金期 — 鳥居清長と喜多川歌麿	
4	11/27(月)		浮世絵の末流 — 鍋木清方	
5	12/ 4(月)		浮世絵風景画の確立 — 葛飾北斎と歌川広重	町田市立国際版画美術館館長 大久保 純一
6	12/11(月)		1910年代の創作版画 — 恩地孝四郎と長谷川潔、その周辺	町田市立国際版画美術館学芸員 滝沢恭司
7	1/22(月)		新時代の伝統版画 — 川瀬巴水と新版画	
8	1/29(月)		1920年代のアヴァンギャルド — マヴォと版画	
9	2/ 5(月)		1930年代・戦時下の版画 — 谷中安規と棟方志功	
10	2/26(月)		戦後版画の開花 — 駒井哲郎・浜田知明／教育版画の普及	町田市立国際版画美術館学芸員 町村悠香
11	3/ 4(月)		東京国際版画ビエンナーレと現代版画 — 池田満寿夫・横尾忠則	
12	3/11(月)		現代アートのなかの版画 — 風間サチコ、アジアの木版画ムーブメント	